



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 木村化工機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6378 URL <https://www.kcpc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 取締役会長兼取締役社長 (氏名) 小林 康真

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 桑 芳明

TEL 06-6488-2501

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 9,355 | 16.1 | 569 | 55.5 | 629 | 52.9 | 361 | 59.6 |
| 2022年3月期第2四半期 | 11,157 | 49.6 | 1,279 | 353.6 | 1,336 | 328.1 | 893 | 349.8 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 356百万円 (63.2%) 2022年3月期第2四半期 969百万円 (206.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 18.36 | |
| 2022年3月期第2四半期 | 44.99 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 26,995 | 14,683 | 54.4 |
| 2022年3月期 | 29,517 | 14,691 | 49.8 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 14,683百万円 2022年3月期 14,691百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | | | 20.00 | 20.00 |
| 2023年3月期 | | | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 21,700 | 11.7 | 1,240 | 53.6 | 1,300 | 53.0 | 920 | 53.3 | 46.47 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2023年3月期2Q | 20,600,000 株 | 2022年3月期 | 20,600,000 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2023年3月期2Q | 878,903 株 | 2022年3月期 | 955,178 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年3月期2Q | 19,674,064 株 | 2022年3月期2Q | 19,856,214 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (セグメント情報) | 11 |
| 3. その他 | 12 |
| (受注、売上及び受注残の状況) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、各種政策の効果や行動制限の緩和等により社会・経済活動の正常化に向けた動きがみられる時期もありましたが、国内における同感染症の第7波による感染者数の急増、ウクライナ情勢の長期化による世界的な資源価格の高騰および急速な円安の進行による物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

また、当社の業績に影響のある国内向け設備投資につきましては、同感染症の長期化の影響等により景気の先行き不透明感が強い中でも、景気に左右されづらい情報化投資や研究開発投資、脱炭素に向けた環境対応投資等が下支えとなり、業績が改善した企業を中心に先送りしていた投資を再開する動きも一部にはみられる等、底堅く推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、受注高は12,890百万円と前年同四半期に比べ1,357百万円の減少(△9.5%)となり、売上高は9,355百万円と前年同四半期に比べ1,801百万円の減少(△16.1%)となりました。

損益面につきましては、営業利益は569百万円と前年同四半期に比べ710百万円の減少(△55.5%)、経常利益は629百万円と前年同四半期に比べ706百万円の減少(△52.9%)となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は361百万円と前年同四半期に比べ532百万円の減少(△59.6%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① エンジニアリング事業

化学機械装置の設計・製作・据付工事を行うエンジニアリング事業につきましては、設計・製作・調達・現地工事・工程管理・試運転までを一貫して行うプラントエンジニアリング(EMPC※)方式での受注拡大および省エネ型であり脱炭素・循環型社会の実現に向け地球温暖化対策として有効であるCO₂排出量を大幅に削減する蒸留・蒸発装置、機器等の受注拡大を図るべく、当社が得意とする固有技術を前面に打ち出した企画提案を積極的に展開いたしました。

その結果、受注高は5,135百万円と前年同四半期に比べ1,794百万円の減少(△25.9%)、売上高は3,234百万円と前年同四半期に比べ2,101百万円の減少(△39.4%)となり、セグメント損失(営業損失)は96百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)760百万円)となりました。

※「EMPC」とは、プラント建設業界では一般的に知られている「EPC」(設計(Engineering)、調達(Procurement)、建設(Construction)の略)に製造(Manufacturing)の「M」を加えた当社造語(商標登録済み)であります。

② 化工機事業

化学機械装置の現地工事・メンテナンス業務を行う化工機事業につきましては、需要が拡大した高機能・高付加価値商品の増産に対応するための投資や主要製品の能力増強のための投資を行う動きが一部の企業や業種ではみられましたが、景気の先行きに対する不透明感が続く中、顧客の多くは設備投資に対する慎重な姿勢を維持したため、既存設備の安定稼働のための定期修理およびメンテナンス工事が主となり、当該工事の受注確保を最優先に大型の新設・増設工事の受注拡大および工事の円滑な進捗に取り組みました。

その結果、受注高は5,396百万円と前年同四半期に比べ1,425百万円の増加(+35.9%)、売上高は3,903百万円と前年同四半期に比べ171百万円の増加(+4.6%)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は391百万円と前年同四半期に比べ3百万円の減少(△0.9%)となりました。

③ エネルギー・環境事業

原子力を含むエネルギー・環境関連機器の設計・製作・据付工事を行うエネルギー・環境事業につきましては、安全審査が終結した原子力発電所の再稼働に向けた業務、福島第一原子力発電所関連の廃炉・廃止措置に向けた各種装置・除染対応業務、および核燃料サイクル施設では青森県六ヶ所村でのMOX燃料(ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料)加工工場の竣工に向けた新規規制基準対応業務を受注すべく営業活動を展開いたしました。

その結果、受注高は2,358百万円と前年同四半期に比べ988百万円の減少(△29.5%)となりましたが、売上

高は 2,217百万円と前年同四半期に比べ 128百万円の増加 (+6.1%) となり、セグメント利益(営業利益)は 273百万円と前年同四半期に比べ 151百万円の増加 (+123.3%) となりました。

なお、当社グループは、通常の営業形態として、年度末に完成する工事の割合が大きいいため、各四半期の生産、受注及び販売の状況の間に著しい相違があり、四半期毎の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況の分析

(資産)

流動資産は 18,192百万円と前連結会計年度末に比べ 2,904百万円の減少 (Δ 13.8%) となりました。

主な要因は、売上債権(受取手形、売掛金及び契約資産)が3,201百万円減少したことなどです。

固定資産は 8,803百万円と前連結会計年度末に比べ 382百万円の微増 (+4.5%) となりました。

この結果、総資産は 26,995百万円と前連結会計年度末に比べ 2,521百万円の減少 (Δ 8.5%) となりました。

(負債)

流動負債は 8,702百万円と前連結会計年度末に比べ 2,368百万円の減少 (Δ 21.4%) となりました。

主な要因は、電子記録債務が1,133百万円減少したことなどです。

固定負債は 3,609百万円と前連結会計年度末に比べ 146百万円の微減 (Δ 3.9%) となりました。

この結果、負債合計は 12,312百万円と前連結会計年度末に比べ 2,514百万円の減少 (Δ 17.0%) となりました。

(純資産)

純資産合計は 14,683百万円と前連結会計年度末に比べ 7百万円の微減 (Δ 0.1%) となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は54.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により 814百万円増加、投資活動により 416百万円減少、財務活動により 701百万円減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間期首に比べ 281百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には 5,288百万円(前年同四半期末比 557百万円減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により資金は 814百万円増加し、前年同四半期に比べ 685百万円流入が増加致しました。主な要因は、前受金の増加などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により資金は 416百万円減少し、前年同四半期に比べ 349百万円流出が増加致しました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の増加などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により資金は 701百万円減少し、前年同四半期に比べ 48百万円流出が増加致しました。主な要因は、配当金の支払額の増加などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想につきましては、当社において、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の定常臨界実験装置(STACY)施設の機器製作に係る当社尼崎工場における不適合の発生があり、独立した専門家を含めた調査委員会を設置し、調査を行い、社内調査も含め特別調査費用として特別損失に82百万円を計上しております。

また、今後の業績に与える影響額を合理的に見積ることが困難であることから、2022年5月13日に公表しました業績予想を据え置いております。今後の動向を踏まえ、業績に重大な影響を及ぼすおそれがある場合は、適時適切に開示いたします。

なお、上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,569 | 5,288 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 13,297 | 10,096 |
| 仕掛品 | 1,377 | 1,721 |
| 原材料及び貯蔵品 | 43 | 54 |
| その他 | 825 | 1,045 |
| 貸倒引当金 | △16 | △13 |
| 流動資産合計 | 21,097 | 18,192 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,469 | 1,781 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 206 | 218 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 88 | 135 |
| 土地 | 3,663 | 3,657 |
| リース資産（純額） | 66 | 62 |
| 建設仮勘定 | 5 | 11 |
| 有形固定資産合計 | 5,500 | 5,866 |
| 無形固定資産 | 31 | 28 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,315 | 1,314 |
| 退職給付に係る資産 | 735 | 744 |
| 繰延税金資産 | 789 | 795 |
| その他 | 50 | 56 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 投資その他の資産合計 | 2,888 | 2,908 |
| 固定資産合計 | 8,420 | 8,803 |
| 資産合計 | 29,517 | 26,995 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,874 | 2,097 |
| 電子記録債務 | 4,049 | 2,915 |
| 短期借入金 | 520 | 490 |
| リース債務 | 28 | 27 |
| 未払法人税等 | 651 | 216 |
| 前受金 | 1,567 | 1,914 |
| 賞与引当金 | 542 | 402 |
| 役員賞与引当金 | 1 | 1 |
| 工事損失引当金 | 23 | 8 |
| 完成工事補償引当金 | 145 | 128 |
| その他 | 667 | 500 |
| 流動負債合計 | 11,070 | 8,702 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,137 | 892 |
| リース債務 | 45 | 41 |
| 役員株式給付引当金 | 340 | 380 |
| 長期末払金 | 70 | 56 |
| 退職給付に係る負債 | 1,116 | 1,172 |
| 資産除去債務 | 46 | 46 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 970 | 970 |
| その他 | 28 | 47 |
| 固定負債合計 | 3,755 | 3,609 |
| 負債合計 | 14,826 | 12,312 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,030 | 1,030 |
| 資本剰余金 | 128 | 128 |
| 利益剰余金 | 11,538 | 11,487 |
| 自己株式 | △612 | △563 |
| 株主資本合計 | 12,084 | 12,082 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 228 | 230 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | 1 |
| 土地再評価差額金 | 2,200 | 2,200 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 175 | 168 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,606 | 2,601 |
| 純資産合計 | 14,691 | 14,683 |
| 負債純資産合計 | 29,517 | 26,995 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 11,157 | 9,355 |
| 売上原価 | 8,776 | 7,728 |
| 売上総利益 | 2,380 | 1,626 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,101 | 1,057 |
| 営業利益 | 1,279 | 569 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 25 | 26 |
| 為替差益 | — | 28 |
| 受取賃貸料 | 5 | 5 |
| 受取保険金 | 28 | — |
| その他 | 4 | 5 |
| 営業外収益合計 | 62 | 65 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 3 |
| 為替差損 | 0 | — |
| 支払手数料 | 1 | 1 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 6 | 5 |
| 経常利益 | 1,336 | 629 |
| 特別利益 | | |
| 国庫補助金 | 9 | — |
| 固定資産売却益 | — | 1 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 10 | 1 |
| 特別損失 | | |
| 特別調査費用 | — | 82 |
| 投資有価証券売却損 | — | 0 |
| 減損損失 | 17 | — |
| 特別損失合計 | 17 | 83 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,328 | 547 |
| 法人税等合計 | 434 | 186 |
| 四半期純利益 | 893 | 361 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 893 | 361 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 893 | 361 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 80 | 2 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | △0 |
| 退職給付に係る調整額 | △4 | △7 |
| その他の包括利益合計 | 76 | △4 |
| 四半期包括利益 | 969 | 356 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 969 | 356 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,328 | 547 |
| 減価償却費 | 122 | 119 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △2 | △2 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △47 | △139 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △0 | △0 |
| 工事損失引当金の増減額(△は減少) | △30 | △15 |
| 完成工事補償引当金の増減額(△は減少) | 10 | △16 |
| 役員株式給付引当金の増減額(△は減少) | 109 | 91 |
| 退職給付に係る資産負債の増減額(△は減少) | 16 | 36 |
| 受取利息及び受取配当金 | △25 | △26 |
| 受取保険金 | △28 | — |
| 支払利息 | 3 | 3 |
| 為替差損益(△は益) | △0 | △22 |
| 国庫補助金 | △9 | — |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △0 | 0 |
| 減損損失 | 17 | — |
| 特別調査費用 | — | 82 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 2,248 | 3,201 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △184 | △355 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △128 | △226 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,140 | △1,909 |
| 固定資産売却損益(△は益) | — | △1 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △1,696 | 346 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △78 | △243 |
| その他 | 17 | △0 |
| 小計 | 499 | 1,468 |
| 利息及び配当金の受取額 | 25 | 26 |
| 利息の支払額 | △2 | △3 |
| 国庫補助金の受取額 | 9 | — |
| 特別調査費用の支払額 | — | △72 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △403 | △605 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 128 | 814 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △64 | △425 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 9 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 | △1 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 2 | 0 |
| 貸付けによる支出 | △2 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 1 | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △67 | △416 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △235 | △275 |
| 自己株式の取得による支出 | △96 | — |
| リース債務の返済による支出 | △17 | △15 |
| 配当金の支払額 | △304 | △410 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △653 | △701 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | 22 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △591 | △281 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,437 | 5,569 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,846 | 5,288 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|----------------|-------|----------------|--------|-----|--------|-------------|-----------------------------------|
| | エンジニア リング事業 | 化工機事業 | エネルギー ・環境事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 5,335 | 3,732 | 2,089 | 11,157 | — | 11,157 | — | 11,157 |
| 外部顧客への売上高 | 5,335 | 3,732 | 2,089 | 11,157 | — | 11,157 | — | 11,157 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 125 | 5 | 131 | — | 131 | △131 | — |
| 計 | 5,335 | 3,858 | 2,094 | 11,288 | — | 11,288 | △131 | 11,157 |
| セグメント利益 | 760 | 395 | 122 | 1,279 | — | 1,279 | — | 1,279 |

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益(合計)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|----------------|-------|----------------|-------|-----|-------|-------------|-----------------------------------|
| | エンジニア リング事業 | 化工機事業 | エネルギー ・環境事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 一時点で移転される財又は サービス | 715 | 3,434 | 732 | 4,881 | — | 4,881 | — | 4,881 |
| 一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス | 2,518 | 469 | 1,485 | 4,473 | — | 4,473 | — | 4,473 |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 3,234 | 3,903 | 2,217 | 9,353 | — | 9,355 | — | 9,355 |
| 外部顧客への売上高 | 3,234 | 3,903 | 2,217 | 9,355 | — | 9,355 | — | 9,355 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 146 | — | 146 | — | 146 | △146 | — |
| 計 | 3,234 | 4,049 | 2,217 | 9,501 | — | 9,501 | △146 | 9,355 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △96 | 391 | 273 | 569 | — | 569 | — | 569 |

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益(合計)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他

(受注、売上及び受注残の状況)

| セグメント | 期別 前第2四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日 | | 当第2四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日 | | 前連結会計年度 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日 | |
|----------------|--|--------|---|--------|--|--------|
| | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| (受注高) | | | | | | |
| エンジニアリング事業 | 6,929 | 48.6 | 5,135 | 39.8 | 7,807 | 35.3 |
| 化工機事業 | 3,970 | 27.9 | 5,396 | 41.9 | 8,183 | 37.0 |
| エネルギー・環境事業 | 3,347 | 23.5 | 2,358 | 18.3 | 6,128 | 27.7 |
| 合計 | 14,247 | 100.0 | 12,890 | 100.0 | 22,118 | 100.0 |
| (売上高) | | | | | | |
| エンジニアリング事業 | 5,335 | 47.8 | 3,234 | 34.6 | 11,507 | 46.8 |
| 化工機事業 | 3,732 | 33.5 | 3,903 | 41.7 | 8,322 | 33.8 |
| エネルギー・環境事業 | 2,089 | 18.7 | 2,217 | 23.7 | 4,759 | 19.4 |
| 合計 | 11,157 | 100.0 | 9,355 | 100.0 | 24,589 | 100.0 |
| (受注残高) | | | | | | |
| エンジニアリング事業 | 14,448 | 52.1 | 11,054 | 43.0 | 9,152 | 41.2 |
| 化工機事業 | 3,119 | 11.2 | 4,235 | 16.5 | 2,743 | 12.4 |
| エネルギー・環境事業 | 10,181 | 36.7 | 10,432 | 40.5 | 10,291 | 46.4 |
| 合計 | 27,749 | 100.0 | 25,723 | 100.0 | 22,188 | 100.0 |
| (注) 輸出状況 | (前第2四半期連結累計期間) | | (当第2四半期連結累計期間) | | (前連結会計年度) | |
| 輸出関係売上高(百万円、%) | 2,228 | 20.0 | 1,063 | 11.4 | 3,711 | 15.1 |
| エンジニアリング事業 | 2,227 | 20.0 | 1,057 | 11.3 | 3,707 | 15.1 |
| エネルギー・環境事業 | 1 | 0.0 | 6 | 0.1 | 3 | 0.0 |